

## 令和5年度第1回東広島市入札監視委員会会議概要

### 1 会議名

令和5年度第1回入札監視委員会

### 2 開催日時・場所

令和5年6月2日（金） 13:30～14:45

東広島市役所本館4階 入札室

### 3 出席委員

岩元委員、石垣委員、富田委員、神野委員、高島委員

### 4 出席職員

総務部長、都市部都市整備課長、下水道部下水道建設課長、建設部次長兼災害河港課長、産業部農林整備課長、事務局員

### 5 会議の概要

#### (1) 委員長の選任及び委員長職務代理者の指名について

##### ア 委員長

委員の互選により岩元委員を委員長に選任した。

##### イ 委員長職務代理者

委員長の指名により神野委員を委員長職務代理者に選任した。

#### (2) 東広島市の入札契約制度の改正について

事務局から東広島市の入札契約制度の改正について説明を行った。

##### ア 総合評価落札方式一般競争入札の改正について

##### イ 建設工事請負契約約款等の改正について

##### ウ 建設業法施行令の改正について

#### (3) 入札及び契約手続に係る運用状況の報告について

次の事項について、事務局から説明を行った。

##### ア 入札方式別発注工事の状況

##### イ 指名除外措置の運用状況

#### (4) 検証対象工事の検証について

次の検証対象工事について、入札参加資格要件、工事概要等を事務局及び施工担当課から説明を行った。

##### ア 令和4年度 街路整備事業 吉行泉線（2工区）道路改良工事その2

- イ 令和4年度 管路更新（耐震化）事業 寺家（板橋）地区配水管布設替工事
- ウ 令和4年度 東広島市下水道事業 江熊2号汚水幹線ほか建設工事（東04-3）
- エ 令和4年度 土木施設災害復旧事業 小畑地区仮設道路設置工事（1工区）
- オ 令和4年度 ため池再生事業 四分一池低水位管理整備工事その5

(5) その他

ア 次回委員会の開催について

令和5年度第2回委員会の開催は令和5年9月頃の予定とし、後日調整を行うことで決定した。

イ 次回の検証工事抽出委員について

抽出委員は配布した名簿の順とし、第2回の抽出は高島委員が行うことで決定した。

6 発言の内容

(1) 東広島市の入札契約制度の改正について

発言者	内容
委員	総合評価落札方式一般競争入札については、評価項目の追加及び配点の変更などの改正がされましたが、これらの改正でどのような効果が期待されますか。
事務局	優良建設工事表彰に伴う加点及び工事成績評定点の配点増加では、工事の品質向上に対する業者の意欲向上が期待できます。また、評価基準に、災害復旧工事の受注実績を「5回以上有する者」及び「10回以上有する者」を新設し、受注件数に応じて業者を適切に評価することで、業者により多くの災害復旧工事を受注していただく効果が期待されます。

(2) 入札及び契約手続に係る運用状況の報告について

発言者	内容
	特になし

(3) 検証対象工事の検証について

ア 令和4年度 街路整備事業 吉行泉線（2工区）道路改良工事その2

発言者	内容
委員	この案件の入札参加者が少なかった原因について、教えてください。
事務局	施工場所が、酒蔵の多いエリアにあって家屋が密集しており、交通量及び地下埋設物が多く、施工条件が非常に厳しいこと、また、災害復旧工事を優先して発注していたため、一般工事に配置する技術者が不足したことが原因と考えます。

イ 令和4年度 管路更新（耐震化）事業 寺家（板橋）地区配水管布設替工事

発言者	内容
委員	水道施設工事は、この案件も含めて入札参加者数が1者のものが多いですが、入札参加者が少ない傾向にありますか。
事務局	水道施設工事の入札に参加する業者は、土木一式工事として災害復旧工事を受注する業者が多いことに加えて、この案件は発注時期が年度末のため、業者の多くが既に工事を受注しており、空いている技術者がいなかったため、入札参加者が少なかったものと考えます。

ウ 令和4年度 東広島市下水道事業 江熊2号汚水幹線ほか建設工事（東04-3）

発言者	内容
委員	この案件は、最低制限価格未満の入札者数の割合が最も高いですが、その要因は、例えば、積算が難しく価格予測が困難であったなど、何か考えられますか。
事務局	この工事の設計金額は、国土交通省などが示す歩掛で積算しているので、業者による積算が特に困難であったとは、考えておりません。
委員	この案件の入札結果を見ると、全ての入札金額が、最低制限価格の近くに集中しています。最低制限価格未満の入札者数の割合が高くなった要因は、開札時のランダム係数が高かったためですか。
事務局	最低制限価格は、その基礎となる基準価格に、基準価格に0から0.005の範囲のランダム係数を乗じた金額を加えて算出されます。この案件で入札した全9者の入札金額は基準価格以上でしたが、ランダム係数が高く、最低制限価格が高く設定されたことで、1者だけが最低制限価格を上回り、残りの8者は下回る結果となりました。

エ 令和4年度 土木施設災害復旧事業 小畑地区仮設道路設置工事（1工区）

発言者	内容
	特になし

オ 令和4年度 ため池再生事業 四分一池低水位管理整備工事その5

発言者	内容
委員	<p>この案件は、特命随意契約で、既発注の隣接工事の受注業者へ工事を発注しており、随意契約の理由は、離合が困難であること、又は搬入・搬出の際に調整が必要であることなどです。このようなケースでは、新たに発注される工事を単独で受注する業者に比べて、発注済みの隣接工事の受注業者が受注する方が有利なので、予定価格の算出に際しては、設計の基礎となる単価に0.8または0.7を乗じるなど、有利になる部分を割り引いて予定価格が積算されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>2つの工事は隣接していますが、別の工事であるため、設計金額の積算の際に0.7または0.8などを乗じることはせず、通常どおりに積算しました。</p>
委員	<p>東広島市は、稲作が盛んですが、ため池の数はどの位ありますか。</p>
事務局	<p>東広島市のため池の数は、県内最多の約4,000です。そのうち、下流に人家等のある防災重点ため池は、約1,800です。</p>